



# かけはし



文責：小倉

## 多様な学びの場や形 ～特別支援教育について～

子供たちは、それぞれの顔が違うように様々な個性を持っています。学校では、個々の違いを認識しつつ、共に協力し共に生きる力を育むよう取り組んでいるところです。個別の教育的ニーズ（特別な支援）が必要な子供たちもしくり。不知火小学校では、障がいのある子供と障がいのない子供が同じ場で共に学ぶことを追求する「インクルーシブ教育」の実現を目指し日々の教育実践を行っています。

「インクルーシブ教育」にはもう一つの視点があります。それは、個別の教育的ニーズのある児童に対して、自立と社会参加を見据えて、その時点での教育的ニーズに最も的確に応える環境を整えることです。

不知火小学校を含めた義務教育では、一人一人の教育的ニーズに応じて、多様な学びの場を整備するよう努力しているところです。本校には、「通級指導教室」と「特別支援学級」を設置し、個別の教育的ニーズに応えています。

### 通級指導教室（かがやき教室）

通常の学級に在籍しながら、学習や生活の困難を改善するために、週1～8時間の自立活動を中心とした学習（ソーシャルスキルトレーニング等）を行っています。



### 特別支援学級（わかば学級）

1学級8人以内で、子供の状態に応じて適切な支援を受けることができます。障がい種や個々の教育的ニーズに応じて「自立活動」や「生活単元学習」を行います。多人数での学びが効果的と判断した場合は、通常の学級で学習することもあります。

不知火小学校では、本年度「知的障がい学級」「自閉症・情緒障がい学級」「病弱・身体虚弱学級」「難聴学級」が設置されています。



もしお子さんの育ちの中で「気になること」があったり、お子さんが学校生活を送る上で「困り感」を感じているようなことがあったりした時は、御相談ください。

- 【相談先】
- 不知火小学校（32-0212）
  - 宇城市教育委員会 特別支援教育相談員（32-1907）

※ 不知火小学校HPに、就学相談窓口のチラシを掲載しています。



## もしもに備えて ～引き渡し訓練実施します～

今年の梅雨は短いとの予測がでています。しかし梅雨が短い年は梅雨末期に集中豪雨があることが多く心配です。集中豪雨に限らず、地震、台風、雷など、私たちの生命や生活を脅かす自然の驚異は、どんなに予報技術が進んでも、防ぐことはできません。

不知火小学校では、「もしも」に備えて、24日（金）に「引き渡し訓練」を実施しますので、ご協力をお願いします。また、自然災害への対応（臨時休業等）についての文書を同日に配付します。判断の内容や判断のタイミング等をまとめておりますのでご覧ください。

緊急の連絡は、「はなまる連絡帳」で行います。はなまる連絡帳への登録をお願いします。またメール未読を防ぐ意味でも、家庭内で複数の登録をお願いします。



お願い

病気等で欠席の場合は、必ず学校への連絡をお願いします。登校途中の事故・事件の可能性があるので、連絡がない場合は学校から緊急連絡先に確認をとる場合があります。